# 事務事業及び予算の執行状況

(令和5年度分「一部、令和6年度分を含む」)

静岡県立浜松みをつくし特別支援学校

# 目 次

1	事	務	事	業	0)	概	要	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2	事	務 執	行	の根	拠	法 令	調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15
3	学	校	施	設	0)	概	要	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	16
4	在	頯	美	生	;	徒	調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	18
5	入	学志原	預者	及び	入音	学者数	で調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	20
6	卒	業	生	$\mathcal{O}$	動	向	調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	21
7	生	贫	Ė	$\mathcal{O}$	,	状	況	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	22
8	特別	引支援	受学	交にお	け	る生産	を物え	<b></b> 包括	調		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	24
9	預			金			調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	25
10	郵	券	套	等 受	Ź	払	調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	26
11	材	料	F	品 爱	Ź	払	調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	26
12	委詞	托料等	<b>F歳</b>	出予算	執	行状沥	記説を	川集	計	表		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	27
13	委	託 ;	料	に関	1 3	トる	調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	28
14	負	担	\$	<b>全</b>	<del>Z</del>	出	調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	31
15	建	孳	Ĭ	工		事	調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	32
16	公	有	Ī	財	,	産	調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	33
17	事	<b>務機</b> 器	<b>景等</b> (	の債務	負:	担行為	为又们	は長	期	継	続	契	約	に	係	る	調		•	•	•	•	•	•	•	•	34
18	行ī	政財産	産貸	付•	使月	用許可	「調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	35
19	主	要	Ę	備		口口	調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	36
20	職			員			調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	37
21	職	員	0	り 年	Ē	齢	調	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	41
22	健		康		管		理	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	42

### 教育委員会1

## 事務事業の概要

#### 1 概況

(1) 学校の沿革

平成29年9月5日 教育委員会定例会にて浜松地区特別支援学校(仮称)の敷地を気賀高等

学校跡地にすることを決定し報告

平成30年7月1日 浜松地区特別支援学校(仮称)設置検討委員会を設置

令和元年10月11日 浜松地区特別支援学校(仮称)建設工事着工

令和2年3月18日 県議会にて静岡県立浜松みをつくし特別支援学校として校名決定

令和2年4月1日 設置準備委員会を静岡県立浜北特別支援学校に設置

令和2年11月4日 静岡県立浜松みをつくし特別支援学校校章決定

令和3年3月10日 校舎建設工事完了

令和3年4月1日 静岡県立浜松みをつくし特別支援学校開校

令和3年4月9日 静岡県立浜松みをつくし特別支援学校開校式(児童生徒数175人)

令和3年4月13日 第1回入学式(小学部20人、中学部15人、高等部24人 入学)

令和4年3月17日 第1回卒業式(小学部14人、中学部29人 卒業)

令和4年4月11日 第2回入学式(小学部11人、中学部15人、高等部43人 入学)

令和5年3月17日 第2回卒業式(小学部5人、中学部23人 卒業)

令和5年4月10日 第3回入学式(小学部16人、中学部9人、高等部37人 入学)

令和6年3月8日 高等部第1回卒業式(30人 卒業)

令和6年3月18日 第3回卒業式(小学部15人、中学部18人 卒業)

令和6年4月11日 第4回入学式(小学部11人、中学部23人、高等部20人 入学)

### (2) 組織図

#### 各種委員会 ・情報セキュリティ検討委員会 • 校内就学支援委員会 • 学校保健委員会 • 学校評価委員会 · 共生 · 共育推進委員会 課題検討委員会 • 研修推進委員会 · 入学者選考委員会 ・校内医療的ケア検討委員会 · 施設開放委員会 ・アレルギー疾患対策委員会 • 学校職員衛生委員会 • 安全対策委員会 · 職員交通安全委員会 ・校内コンプライアンス委員会 生徒指導委員会 ・いじめ防止対策委員会 ・コミュニティースクールプロ スクールバス委員会 ジェクト 学 小学部 校 副 教 年 学部主事 中学部 校 企画会 主 長 長 頭 高等部 任 運営委員会 職員会議 学校運営協議会 外部評価委員会 確かな学び・育ち 安全・安心 研修課 教務課 つながる 保健体育課 生徒指導課 図書芸術課 地域連携課 総務課 情報教育課 進路指導課 自立活動課 -庶務 事 事 -会計 務 務 -管財 **─**厨房管理 **─**用務 長 部

#### 2 目指す学校像

### (1)教育目標

「共に学び 共に育ち 共に夢をつかむ」

育ちの根底に夢があることからこそ主体的な学びが保障される。児童生徒が様々な学びにより確実に育つことで自ら未来を拓く人を育てる。

児童生徒はもとより、保護者(家族)、地域、教職員にとって夢を育むことができる学校を 目指す。

- 「夢」⇒こんな自分になりたいという将来像にとどまらず、将来や今やりたいこと、明日 への希望や意欲など幅広くとらえ、一人一人の思い(選択)を含めた多様な生き 方や価値観をもつ人々を大切にできる学校
- 「共」⇒児童生徒間はもちろん、教職員や学校、保護者・家族と、地域と、関係機関と一 諸に夢を見て、一緒に成長している学校

「学び・育ち」⇒様々な主体的な学びによって、確実な育ちがある学校

#### (2)目指す学校像

- ・確かな学び・育ちがある学校
- ・安全で安心な生活ができる学校
- ・地域・社会とつながる学校

#### (3)目標具現化の柱「夢を実現するために」

ア【確かな学び・育ちがある学校】

- ・児童生徒一人一人の「夢」に向かい、確かな成長を促し、発達を支える教育の実現。 <12年間の教育課程、個別の指導計画、授業づくり、ICT教育、自立活動、キャリアステージに応じた研修>
- イ【安全で安心な生活ができる学校】
- ・多様な生き方と価値観を認め、互いの「夢」を大切にする教育の充実。 <生徒指導、人権教育(いじめ)、道徳教育、防災教育、健康・安全教育、情報教育>
- ・児童生徒にとって安全で安心な学校体制の構築。
  - <防災・被災時防犯体制、安全管理体制、業務的成果、働き方改革、PTA>
- ウ【地域・社会とつながる学校】
- ・共生社会の実現を目指し、福祉や社会とつながり、家庭・地域と共に歩む学校づくりの推進。 <理解啓発としての作業製品販売会及び展示会・作品展・学校だより・HPの充実・学校紹介・ 学校公開、交流及び共同学習、センター的機能、支援会議>

#### 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和5年度の取組目標への評価及び成果と課題

A:十分目標を達成できた B:おおむね目標を達成できた C:あまり目標を達成できなかった

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	子供の人権 を守る取組 の推進	<ul><li>・全教職員が自 分の働き方を 見直したり、 一緒に働くチ</li></ul>	<ul><li>・全教職員が自分の働き方を見直したり、一緒に働くチーム内で</li></ul>	A	・仕事から得られる満足度には、複数の要素が絡み合っており、それぞれの価値観や状況、目標によって異なってくる。そのため、学校

		الم	/ T /		1 1 2 VH WH WHO = 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
		一観りでをが全生視指施の大きな、感で教徒点導すでをが全生視消する。児さいにはいとがこ。児さいにはいとがにはいいとのではないとのであるが、良置常のををあるが、していいとのでは、	価値観を共有と にないががいる。 を主教の良いないがい。 を登れるがいがいる。 を登れるがいがいる。 はは、でで、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は		という組織においてはその価値 観を共有し、一人一人が自身やチームでの仕事に対して自分の意見をもち、意識改革をしたうえで取り組んでいく必要がある。 ・児童生徒にとって安全で安心な学校になるよう全職員が心掛けた。人権チェックや挨拶、奨励といった様々な取り組みをとおして人権への配慮、児童生徒への指導や接し方など心理面での安全安心の確保に取り組んだ。
	児自守での進 生命とたの がをがめ 推	・児分にちさえ全童者謝伝者行生体心命つ。職徒互気合思を生体心命つ。職徒互気合思をが使も大て、保にち、やるが健も大て、保にち、やるり、明考、児護感を他る。	・児童生徒は、おきないでは、大きのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	A	・安全点検の実施など、防災を含む 児童生徒の安全を確保するため 環境を整え、安全に関する指導を 行った。児童生徒自身が自分り組 んだ。 ・それぞれの発達段階に応じて、保 育、増進に成りの掲示を 行っける指導や担任、養 育、増進に関する指導や担任、養 育、増進に関する指導や担任、養 育、増進に関する指導や担任、養 で の情報発信を分掌や担任、養 護 る 治、栄養教論等が協力して行動や 総合的な学習、総合的な探求指導の 大の時間、保健体育、日常生活の特別 との時間について児童生徒が考え ることができるような教育を推 進 で していてきるような教育を推 進 で して見童生徒が考え ることができると のある行動を したりすることができた。
	事故や災害等の対域を受ける。予校再開の体制の整備	・全教職有の際のでは、一生教職を表示である。	<ul><li>・全教職員と保護 者が有事をも イメージ童生の ために ために と思う行動 こした。</li></ul>	A	・実際的な状況を想定した訓練を行ったり、夏季研修で危機管理マニュアルの見直しをしたりしたことで職員一人一人が当事者意識をもち、自分で考え行動しようと意識することができた。いついかなるときも、全職員が自分事として行動を起こせるようにしたい。・居住地域における非常時の不安事項や危機管理マニュアル内の家庭での必要な対応についてまとめ、洗い出しをした。令和6年度のPTA総会で、保護者用マニュアルを出せるように進めている。
イ	主体的に学 びあうこと で深い学び	<ul><li>児童生徒が何を学んだか、何ができるよ</li></ul>	<ul><li>児童生徒が何を 学んだか、何が できるようにな</li></ul>	A	・各学部で設定した研究テーマに沿って、学部一丸となり目指す児童 生徒像を職員で共通理解し、単元

	を実現する授業実践	うになったか に着目した授 業を実践す る。	ったかに着目した授業を実践した。		カードや指導カードを作成することで児童生徒の学びを追求した。全職員が授業研究会や振り返りカード、学習指導要領に基づいた評価、授業改善を行い、本校の研修テーマにある「主体的に学び合う姿」を目指し、授業実践に取り組んだ。
	社会に開かれた。というでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	・ 増等 共つの 成地地ん動 「一すの学、「一しう献巻 授ををした。 なき (践く反果年み」作 といる にままる でを といる はいかい いい	<ul> <li>・指導の果を学有の成果を学有を少年をつられるの見った。</li> <li>・地域では、「からいた。</li> <li>・地域を巻活がいる。</li> <li>・地域を表話がある。</li> <li>・地域を表話がある。</li> <li>・地である。</li> <li>・はいいのはいる。</li> <li>・はいいのはいるはいる。</li> <li>・はいいのはいる。</li> <li>・はいいのはいる。</li> <li>・はいいのはいる。</li> <li>・はいいのはいる。</li> <li>・はいいのはいる。</li> <li>・はいいのはいるいのはいる。</li> <li>・はいいのはいるいのはいるいのはいるいのはいるいのはいるいのはいるいのはいるいの</li></ul>	В	・年間指導計画を作成し、実践した 授業実践を「みをつくシート」に まとめ、見直しを行っている。「み をつくシート」の全体像を示せて いないため、今後、シート作成の 考え方を全職員で共通理解して PDCA サイクルでの見直し、繰り 返してシートを活用して12年間 の教育課程を作り上げていく必 要がある。 ・地域を巻き込んだ活動について も、今年度の実践を「みをつくシート」にまとめているところであ る。本校の地域活用をした12年間の教育活動が一目でわかるよ うにしたい。
	キャピをといった。また、またのでは、またのでである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	<ul><li>保護者が表がのできる</li><li>保護者が来のメキャースのでのできる</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li><li>大きるのでは、</li></ul>	<ul><li>・保護者が我がをキーの将来のいっとのでは、</li><li>・保護者が我がをませる。</li><li>・保護者が我がをない。</li><li>・保護者が我がをないます。</li><li>・保護者が我がをする。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がます。</li><li>・保護者が我がまする。</li><li>・保護者が我がまする。</li><li>・保護者が我がまする。</li><li>・保護者が我がまする。</li><li>・保護者が我がまする。</li><li>・保護者がまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・保護者がようないまする。</li><li>・</li></ul>	В	・各学部、分掌が連携しながら、12 年間の発達段階に応じたキャリ ア教育を進めた。PTAでも進路 講演会や高3保護者へのアンケートを実施し、進路便りや広報誌で保護者へ情報提供をした。 ・保護者アンケートでも91%が「そう思う」「思う」に回答。しかし、キャリアパスポートをうまく活用できているいと感じている保護者もいるため、今後も学校、児童生徒、保護者、地域が今と将来の姿を共に考えながらキャリア教育を実践していく必要がある。
	児童生徒の 選生人の姿を 人後の 大指導を 大指する の向上	・発達段階や障害特性を踏まえた専門的で最新の指導をチームで考え実践する。	・発達段階や障害 特性を踏まえた 専門的で最新の 指導をチームで 考え、実践した。	A	・各学部・分掌が連携し、研修や学習会を実施した。専門的な知識、技術をもち、チームでの指導につなげることができた。しかし、児童生徒一人一人の実態やニーズによっては、まだまだ幅広い専門性が必要になってくるため、今後も様々な分野について学んだり、本校の人材を活用したりして専門性の向上、活用につなげていきたい。
ウ	共同学習の 充実につな がる児童生	<ul><li>・互いに学び合 える交流籍を 活用した共同</li></ul>	・互いに学び合え る交流籍を活用 した共同学習を	A	・交流校と互いを尊重し合い、学び 合える交流実践の実現につなげ ることができるようになってき

徒の居住地 域(学区) とのネッの構 築	学習を計画、 実施する。 ・本校の良さや 特色を地アピー ルするHPの 作成。	計画、実施した。 ・本校の良さや特色を地域に向けてアピールする HPの作成をした。		た。交流を継続しながら、交流の 意義や目的について相手校の職 員や児童生徒と共有できるよう 交流を計画していく。 ・交流籍を活用した交流及び共同学 習では、事前の打ち合わせを実施 して目的や意義を伝え、充実した 交流を実施することができた。 ・各学年HP担当が発信先をイメー ジし、本校の良さや特色が伝わる HP作成を行い、情報発信することができるよう講習会を行った。 ・外部向けだけでなく、校内の職員 が積極的に他学部の情報を閲覧 するような情報提供を行うと共 にアクセス数の確認カウンター を設置したい。
共充が徒域とワ築同学の童性区ッののな生地)ト構	・互え活学実体特向ルでで、た計る良地アHPのをである。さ域ピアアのをである。	<ul><li>・互のに学び合え</li><li>・互のた共に学びを共実に</li><li>・本校の地域の</li><li>・本色での</li><li>・中の</li><li>・中の</li><li>・た。</li></ul>	A	・交流や行事などで直接本校へ来校し、協力してくれた協力者、校外での協力者、進路関係での協力者など本校に関わり、教育活動を支えていただいた。学校間交流気賀小:250人、細江中150人、浜松湖北高校54人 介護体験15人、私学教員研修3人、作業製品販売会参加者29人以上、市場調査協力者51人以上教育実習生5人、聖隷クリスト験科人、早3人、中2見学説明会80人(高)、学校見学参加者36人(進路)、学校公開参加者184人、ゆめウィーク来校者270人、SAP協力者6人、その他・作品展参観者等

## (2) 令和6年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
	主体的に学びあうことで深い学びを実現し、自己決定力をはぐくむための授業実践	・発達等の根拠に裏付けされた授業を実践する。	・教員各自が研修によって、 全ての授業に対して授業 改善を繰り返す。	研修課 教務課 情報教育課 自立活動課 各学部
ア	地域とつながること による自立と社会参 加に向けた学校教育 力の向上	・地域の人と協働することで、児童生徒が地域とのつながりの中で学び、社会に開かれた教育課程を実現する。	<ul><li>・地域貢献につながる地域 を巻き込んだ授業(活動) を実践し、「みをつくシ ート」に反映する。</li></ul>	研修課 地域連携課 図書芸術課 教務課 各学部
	キャリア発達を促す 一貫した教育課程を 軸にした教育活動の	<ul><li>・家庭を巻き込んだキャリア教育を実践する。</li></ul>	<ul><li>・保護者が自分の子供の将来の姿をイメージし、キャリアパスポートの取組</li></ul>	進路指導課 生徒指導課 教務課

	大字		カドムズキファトに学院	夕 学切
	充実		など今できることに家庭	各学部
			でも取り組む。	
	子供の人権を守る取	・教職員一人一人が自他の	・全職員が児童生徒の良さ	生徒指導課
	組の推進	生き方や価値観を大切	に視点を置いた指導を常	各学部
		にする倫理観と心の余	に実施する。	事務部
		裕をもつ。		
	児童生徒が自他の命	・児童生徒が自分を大切に	・児童生徒が様々な命の大	保健体育課
	を守ることができる	思い、自分の周りの人や	切さについて考えた行動	総務課
1	ための教育の推進	物事に対して興味・関心	をする。	各学部
1		や感謝の気持ちをもつ		
		ことができる教育実践		
		を行う。		
	事故や災害等の学校	・全教職員や保護者が危機	<ul><li>全教職員と保護者が有事</li></ul>	生徒指導課
	安全に対する予防、準	管理マニュアルを周知	の際のイメージをもち、	保健体育課
	備、学校再開計画の体	したうえで、被災時に対	児童生徒のために今必要	総務課
	制の整備	する準備をする。	だと思う行動を起こす。	事務部
	居住地域(学区)での	・学区内の福祉党の地域の	・本校の良さや指導につい	地域連携課
	児童生徒の共生を目	方々や園・校とのネット	て外部へ伝える。	図書芸術課
	指した体制づくり	ワークを作る。		情報教育課
ゥ				進路指導課
				自立活動課
	地域の中で共に学び、	・互いに学び合える交流籍	<ul><li>互いが「もっとやりたい。」</li></ul>	地域連携課
	共に生活できる「共	を活用した共同学習を	と思う共同学習を実施す	図書芸術課
	生・共育」の推進	計画し、実施する。	る。	各学部

## 4 監査対象期間における特色ある取組

4 監査対象効制における特色的な.	UX小LL.
取 組 概 要	成果及び課題
1 安全で安心な学校体制の構築	
・避難訓練や引き渡し訓練、交	・地震や火災における基本的な避難経路や交通安全、マナー
通安全教室、教員を対象とし	について児童生徒職員で確認した。様々な災害を想定し
た不審者対応訓練を実施して	て、主体的に考えて訓練に取り組んでいく中で、より実効
防災・防犯時の対応を教職員、	性のある危機管理マニュアルへの内容改善を図っている。
児童生徒及び保護者で共有す	
る	
・学校再開計画の体制を整備す	・危機管理マニュアルを活用して、発災から平常に向けての
る	動きや役割などの体制について検討、課題の洗い出しを図
	っている。
・児童生徒の良さに視点を置い	・保護者と連携し、児童生徒の通学時の避難場所の確認を行
た指導の実践及び「困った、	った。
助けて」が気軽に言える雰囲	・児童生徒の良さや学級、学年の雰囲気づくりについて話し
気づくりの取り組みを実施	合う機会の定期的な設定や人権チェックなどにより、多様
	性や価値観を認め、児童生徒が安心して生活ができる環境
	づくりへの意識を高めている。
・ヒヤリハットや事故報告の事	・ヒヤリハットや怪我が起きた際は、直ちに関係職員が原因

例を共有する

- ・人権アンケートや不祥事根絶 研修、いじめ・体罰アンケー トを実施し、一人一人の人権 意識を高める
- 業務の適正化を図る

教急救命法講習の実施。

につなげている。

・グループワークでの意見交換を通して、不祥事を自分事と してとらえ、不祥事根絶の意識向上につなげている。

分析を行い、根本的な課題を見つけ、学校全体で再発防止

- ・アンケートや、学年グループで話し合う機会を設定し、人 権意識や教職員としての自覚、OJTの意識を高めてい る。
- ・水曜日は17時30分、他の曜日は19時を全教職員の退勤 上限時刻として教職員に周知している。
- 会議は一時間以内としている。そのために資料の事前配布、 もしくは IT 機器を活用することで会議資料をデータで共 有し、会議前に共通理解を図っている。
- ・保護者面談の希望日や保護者学校アンケート、教職員の学 校評価アンケートなどを COCOO や Google フォームを使っ て実施。集計を素早く行い、意見などの反映につなげてい る。
- ・学部ごと月に一回の定時退勤日を設定している。業務の偏 りなどを共有し、対応を学校組織として考えていくことと している。会議を精選し、OJTの活用や学部、学年間の 連携、協力により、ワークライフバランスを図っている。
- ・メンタルヘルスの可能性がある職員への対応として職場組 織の中で環境の配慮をしてきた。
  - 随時、管理職も声を掛け、必要に応じて面接をしている。 現在、特休を取っている職員はいない。
- ・学期に1回全校クリーン作戦の実施。全学部(小低は、 別の時間帯)で運動場の整備に取り組んだ。保護者にも呼 びかけ、一緒に行った。
- 2 児童生徒が主体的に学ぶため の指導の充実
  - · 児童生徒、教職員、保護者等 が確かな成長を感じられる教 育活動を進める
  - ・児童生徒一人一人の夢を大切 にしたキャリア教育の実践
- ・児童生徒にとって魅力ある地域資源を活用することで、主 体的な学びの姿を引き出す授業を実践し、各学年1回以上 の研究授業をとおして、授業改善に取り組んだ。
- ・キャリアアップシート、キャリアビジョンを活用し、児童 生徒の個々の目標設定に生かしている。児童生徒自身が自 分の伸ばしたい強み(長所)や克服したい課題を目標に、主 体的な学びや自己実現につながるシートなどの活用の仕 方を今後検討し、取り組んでいる。
- ・2か月に1回全校での児童生徒会活動(代表委員会)の実

#### 3 地域との連携

- ・「地域と共にある学校」をテーマにした学校運営協議会の実施
- ・地域資源の活用として、作業 学習の外部講師や資材の提 供、作業製品の展示や販売会 等を実施

- ・地域の人材を教育活動に活用 するための、みをつくしサポー ターの募集
- ・交流及び共同学習の実施

施。毎週水曜 5 限目を小中学部、高等部すべて特別活動と し、全学部そろって代表委員会を実施している。高等部生 徒会が中心となり、あいさつ運動の計画や学校のきまりな どを全校に伝え、よりよい学校づくりを全児童生徒で実践 している。

- ・新設校として、今後つながっていきたい、協力をしてもらいたいと地域の方を運営協議委員として依頼し、継続して 委員を務めていただいた。
- ・学校運営協議会を年間3回開催し、さらに地域に開かれた 教育課程について検討している。また、「安心・安全」な 教育環境を目指した議題として防災マニュアルの検討を 議題としていく。
- ・地域資源の活用をとおして、地域の方に本校や本校の児童 生徒、障害のある人たちへの理解啓発ができた。 地域からの協力、理解をいただき、作業製品の販売や展示、 図工・美術作品展示を実施している。

特に、作業学習については、地域の意見を製品づくりに生かそうと各所で製品展示や販売をとおしてアンケートを行っている。また、地域の店舗から製品作りに必要な資材提供の協力を受け、製品作りに生かしている。

- ・保護者による読み聞かせボランティアや図書ボランティア の活用を実施している。みをつくしサポーターの活用。
- ・学校行事やボランティア募集等の便りを回覧板でお知らせ している。
- ・教育活動に協力をしてくださる地域の人材(みをつくしサポーター)を募集した。学習発表会の観客、校外学習の付き添いや見守り、美術科音楽科や防災学習におけるゲストティーチャー等の教育活動に協力していただいた。多くの地域の方々が児童生徒と直接関わることで、学校及び特別支援教育に関する理解につながった。
- ・気賀小学校、細江中学校、浜松湖北高校との学校間交流を 実施した。相手校と交流の目的や意義を確認しながら児童 生徒の実態を考慮して交流の方法や時期を工夫したこと で、互いの学校にとって学びの多い交流となり、双方の交 流目的が達成できた。訪問交流を行っている。本校の学習 発表会の作品展示に、交流校の作品を借りて展示し、作品 の交流も行っている。
- ・小中学部では交流籍を活用した交流及び共同学習を実施し

た。事前の打ち合わせでは、双方で交流の目的や意義を確認した上で学習内容や支援について話し合うことで双方児童生徒にとって有意義な交流を実施することができた。 事後のアンケートでは、交流への満足度も高く、個に応じた目標達成が進んでいる。

### 5 教職員について

(1) 令和5年度異動状況

11/51 /2			7.	k	矛	务	聑	践	丿	Į				踮	時	• -	非常	勤	職」	員		
職名		教	て 育	î I	哉 」	<u></u>		í	亍政	職員	ļ	本	教	教	非	実羽	非	非常	学校	健	臨	合
区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	小計	事務長	主	主任	小計	務計	論(任)	論(臨)	常勤講師	実習支援指導品	常勤嘱託員	勤労務職	医・薬剤	康管理医	時等計	計
			,		1133					·-			)			員	貝	員	師			
転出	1			11			12		1		1	13									0	13
退職			1	1			2				0	2	5	9	2		4	1			21	23
再任用 (転出・退職)							0				0	0									0	0
転入				10			10		1		1	11	1								1	12
新任	1		1	7			9				0	9	1	6		1	2	1			11	20
再任用							0				0	0									0	0
差引増減	0	0	0	5	0	0	5	0	0	0	0	5	△ 3	△ 3	△ 2	1	△ 2	0	0	0	△ 9	△ 4

#### (2) 現員数

(令和6年10月31日現在)

			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •																					
\	職				本		務	聙	ŧ	員						跃	힒時	· 非	常剪	肋職貞	Ę			
	名		į	教言	育耶	哉 貞	į	-	1	行政	職員	1	本	教	*/+	医	非	実	非	非常	学校	健	臨	合
		校	副	教	教	養	栄	小	事	主	主	小	務		教	ケアモ	常	習支	常勤	勤	医	康	時	
区 \	$\setminus$		校			護教	養教		務				者	諭()	諭(	看護	勤講	援指	嘱託	労務	薬	管理	等	計
分		長	長	頭	諭	諭	諭	計	長	査	任	計	計	任	臨)	職員	師	導員	員	職員	剤師	医	計	ΗΙ
男		1	1		34			36		1	1	2	38	1	6		1			4	4	1	17	55
女	•			1	60	2	1	64	1	1		2	66	2	6	2	2	1	4	4	2		23	89
計	•	1	1	1	94	2	1	100	1	2	1	4	104	3	12	2	3	1	4	8	6	1	40	144

### (3) 健康管理について

## 【令和5年度】

### ア 健康管理の推進

- (ア) 生活習慣病健診、指定年齢検診、人間ドック等の完全実施を図り、事後措置を徹底させている。また、情報機器作業従事者健診については、全教職員に作業区分調査を行って一次検診対象者を抽出し、紙面による調査を行った。
- (4) 職員安全衛生委員会を毎月開催し、健康管理医の意見をいただきながら、教職員の心身

の健康状況等について討議している。

### イストレス、メンタルヘルス関連について

- (ア) 職員安全衛生委員会では、教職員の状況を把握するとともに、必要に応じて個別面談を 実施するなど、教職員のメンタルの維持、向上に努めている。
- (イ) 毎週水曜日を定時退勤日と定め、17時30分施錠を実施している。
- (ウ) 公立学校共済組合の職場の健康づくり支援事業を活用し、ハンドマッサージや自力整体、メンタルヘルスの講習会を実施した。

## 【令和6年度】

#### ア 健康管理の推進

- (ア) 生活習慣病健診、指定年齢検診、人間ドック等の完全実施を図り、事後措置を徹底させている。また、情報機器作業従事者健診については、全教職員に作業区分調査を行って 一次検診対象者を抽出し、紙面による調査を行った。
- (イ)職員安全衛生委員会を毎月開催し、健康管理医の意見をいただきながら、教職員の心身の健康状況等について討議している。

## イ ストレス、メンタルヘルス関連について

- (ア) 職員安全衛生委員会では、教職員の状況を把握するとともに、必要に応じて個別面談を 実施するなど、教職員のメンタルの維持、向上に努めている。
- (イ) 毎週水曜日を定時退勤日と定め、17時30分施錠を実施している。
- (ウ) 公立学校共済組合の職場の健康づくり支援事業を活用し、アロマ体験や、ゼロトレ、生活習慣病予防のための食事に関する講習会を実施した。

#### (4) 教職員の研修について

研究テーマを「学び合いの中で気付き分かってできる」とする。

H)1 / L1 /	6 1 TO [1 0 ] CX(11 G X) N 3 C C G	<u> </u>
目的	内容	成果と課題
授業力の向上	・各学部(小・中・高)に研究班を組	・総合教育センターの教育主査の指導、
	織し、各班で具体的な研究課題を設	助言を受け、本校の研修について評
	定して、学校経営と研修の一体化を	価していただいた。また、子どもを
	基に授業実践研究を中心に進める。	主語とした学びを実現するために、
	・学年、グループを超えて授業を見合	子どもの「問いや考え」を大切にし
	う機会を設定する。	た学習課題の設定の大切について理
	・児童生徒の姿から子どもの見方を考	解を深めることができた。
	え、教師も学び合えるような事後検	<ul><li>各研究班で公開授業後に事後検討会</li></ul>
	討会を実施する。	を行い、「学び合い」「子ども達が気
	<ul><li>各研究班で公開授業や授業研究会を</li></ul>	付く」という視点から活発な意見交
	行い、校内アドバイザーや外部助言	換ができている。そこで出た意見や
	者から指導、助言を受ける。	アドバイザーや助言者の助言を受
	・PDCA サイクルを活用して授業づく	け、授業改善ができている。公開授
	り、授業改善を行う。	業を行った学年や作業班だけでな

- ・学習指導要領の内容に即して児童生 徒が何を学ぶかが分かるような「解 決したい課題や問い」を設定する。
- ・児童生徒が学び合えるような学習グ ループを編成したり、学習活動を設 定したりする。
- ・他学年・他学部とのつながりを考え た年間指導計画「みをつくシート」 の作成や、見直しをする。
- ・学習内容から、学習効果を高めるた めに地域を活用した授業づくりを行 ったり、地域の人との協働学習を行 ったりする。

- く、他の教員が自分の授業に生かし ていきたい。
- ・年間指導計画「みをつくシート」を 作成し、8月に学年、学部、教科、 領域ごと等で見直し、学習指導要領 の内容に即して学習内容を考えてい くことを確認することができた。し かし、まだ考え方や「みをつくシー ト」の意味等が学校全体に浸透しき れていない。
- ・授業の中で効果的に地域の活用がで きている。「みをつくしサポーター」 を活用し、学習効果を高めることが できている。

### 専門性の向上

- ・自立活動課、進路指導課などいろい ろな分掌の教員が講師を担当し、 様々な分野の基礎・基本的な研修を 定期的に実施する。
- ・「研修課だより」を発行し、授業づく りに関する情報の共有を図る。
- ·初任者研修、2年次研修、5年次研 修、中堅教諭等資質向上研修を推進 する。
- 校外研修の報告の場を設定する。
- ・日々の支援を見直し、改善する機会 として「はごろも『夢』講演会」を 実施する。
- ・基本姿勢や社会人としての心得、教 材紹介を交えながらの国語、算数・ 数学の授業についてなど、初歩的な 研修を行い、参加者の知識を深める ことができた。講師を務めた教員も 自身のキャリアアップにつながって いる。
- 年次研修を受けた教員はそれぞれの キャリアに応じて知識、理解を深め ている。
- ・校内外の研修で学んだことを多くの 職員で共有し、指導に役立てていき たい。
- ・「はごろも『夢』講演会」では発達障 害について具体的な事例を交えた話 を聞いた。多くの教員が普段接して いる児童生徒を思い浮かべながら話 を聞き、発達障害のある児童生徒へ の理解が深めることができた。実際 の支援に生かしていきたい。

# の向上

- 危機管理意識 |・人権について県の伝達研修を実施し たり、人権アンケートをとったりし て、いじめや体罰防止等に努める。
  - 不祥事根絶研修を毎月実施する。
- ・教職員間での協力体制やありのまま の児童生徒の状況を受け入れる体制 が整い、学校全体で人権について考 えるようになってきた。
- ・小グループで話し合う機会を多く持

	ち、不祥事を自分事として考える職
	員が増えるよう取り組んでいる。

#### 6 防災対策について

本校の立地条件として、校舎の被害想定は低いと考えられるが、ハザードマップより学校敷地内一部の浸水や学校周辺地域の液状化等の被害が想定される。危機管理マニュアルを周知したうえで、有事の際のイメージをもち、児童生徒のために今必要だと思う行動を起こすことができるように、今年度は、特に災害後学校再開に向けての見通しが持てるように、被災後の流れや動き、役割などについて話し合う機会を設定し、マニュアルを活用し体制を確認、見直しをしていく。安全点検、ヒヤリハットの共有、安全教育の充実に向けた取り組みについては昨年に引き続き行っている。

令和6年8月に発表された初の南海トラフ地震臨時情報については、対応についての課題も見られ検討会を実施した。

今後も実効性のある本部体制や対応等について課題や改善策を検討しながら大規模地震に備えるため総合的な地震対策を整える。合わせて、児童生徒の生命や身体の安全を確保し、施設設備の保全を図るため、次の基本方針で取り組んでいる。

- (1) 校長を総指揮とする安全対策委員会を設置し、防災体制に関しての改善を図る。
- (2) 浜松市地域防災計画における本校の役割について確認し、浜松市浜名区危機管理課との連携を密にする。
- (3) PTA (関係委員) との協力、連携体制の整備。
- (4) 非常防災設備の整備や定期点検を行う。
- (5) 児童生徒の生命や身体の安全確保を図るため、状況に応じた避難誘導対策を十分に検討し、 日頃から訓練を積み重ねる。児童生徒の在校時における南海トラフ地震の臨時情報、地震発 生時等に備えた防災避難訓練を計画的に実施する。

#### ア 令和5年度の取組

#### (ア) 目標

- ・児童生徒が安全安心に学校生活を送るために必要な「自他の命を守る行動をとることができる」ための防災教育や安全点検、施設管理を推進する。
- ・全教職員や保護者が危機管理マニュアルを周知したうえで、事故や災害等の学校安全に対する予防、準備、学校再開計画の体制を整備する。

#### (4) 実施(予定)内容

実施日	項目【想定】	訓練内容	対象者
5月11日	第1回避難訓練【地震】	避難経路確認	児童生徒教職員
5月29日	第2回避難訓練	負傷者救出訓練	教職員
	【安否確認】【負傷者救出訓		
	練】(保体課と連携)		
7月28日	防災研修	災害時の初動初期場面の自	
		分の動き、分掌の役割確認	

9月 1日	引き渡し訓練	保護者への引き渡し	新入生、転入生
10月30日	第3回避難訓練【火災】	避難経路確認、初期消火	児童生徒教職員
1月25日	第4回避難訓練【地震】	事前予告なし訓練	児童生徒教職員

#### イ 令和6年度の取組

### (ア) 目標

・全教職員や保護者が危機管理マニュアルを周知したうえで、事故や災害等の学校安全に対する予防、準備、学校再開計画の体制を整備する。

## (4) 実施(予定)内容

実施日	項目【想定】	訓練内容	対象者
4月18日	引き渡し訓練	保護者への引き渡し	児童生徒教職員
5月 8日	第1回避難訓練【地震】	避難経路確認、情報伝達	児童生徒教職員
		防災講話	高等部生徒
6月 7日	第2回避難訓練【地震】	事前予告なし訓練	児童生徒教職員
7月31日	防犯研修	不審者対応訓練	教職員
9月 2日	防災学習の日	防災学習・非常食体験	児童生徒教職員
10月22日	第3回避難訓練【火災】	避難経路確認、煙体験	児童生徒教職員
1月20日	第4回避難訓練【水害】	垂直避難	児童生徒教職員

### (ウ) 成果と課題

各訓練、研修等において、実際的な想定をもとに避難経路やリスク、役割について各学年、 分掌間でリスクコミュニケーションを図る機会を設けたことで、教員間の危機管理意識の向 上につながっている。各種訓練では、より具体的にイメージして事前学習や避難誘導を行っ ている。安全点検では、点検する際の観点を具体的に示している。目視だけの点検に留まら ず、打音・振動・負荷・作動等、実効性のある点検により、危険箇所の把握と教育環境の整 備と改善に努めている。防災研修で課題とした災害対策本部での初動の役割分担の明確化、 情報発信、情報把握・整理の方法を継続して検討し、南海トラフ地震・異常気象等の災害に 対して組織での対応を行っていく。

### 7 学校開放について

地域に開かれた学校づくりの一環として、教育活動に支障のない範囲で学校の施設・設備を地域に開放していく。

年度	施設名	利用日数	利用人員	主な利用内容	利用者負担金 (光熱水費)	
人和《左库	体 育 館	26日	629人	フポーツ数字・サッカー		
令和6年度 (10/31現在)	グランド	4日	78人	スポーツ教室・サッカー フットサル・防災キャンプ	5,972円	
(10/31列1)	合 計	30日	707人			
	体 育 館	21日	493人	スポーツ教室・サッカー		
令和5年度	グランド	3日	79人	フットサル・防災キャンプ	3,604円	
	合 計	24日	572人			

# 事務執行の根拠法令調

項目	根拠法令
1 学校教育に関すること	教育基本法(第1条、第2条) 学校教育法(第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、第74条、第76条、第77条) 学校教育法施行規則 学校保健安全法(第5条) 学校給食法(第4条) 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律いじめ防止対策推進法(第8条) 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学支援委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法(第137条) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(第33条) 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法(第21条、第22条) 学校保健安全法(第15条、第27条) 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法(第3条、第4条) 静岡県立学校の務規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律(第1条、第2条、第3条) 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱 事の果情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法(第16条、第17条) 社会教育法(第43条、第45条、第47条、第48条)

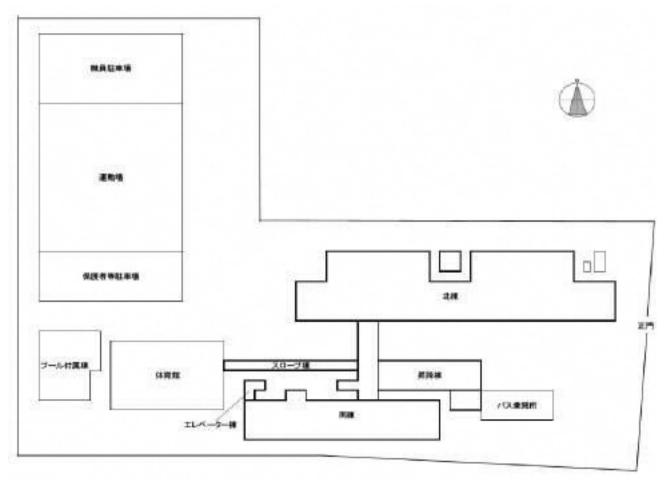
# 学校施設の概要

## 1 面積及び所有区分

				所	有 内	訳		
	区 分	面積	県有	国有	市町村有	後援会有	民有	摘 要
		m²	m²	m²	m²	m²	m²	
学	校 敷 地	34, 844. 32	34, 844. 32					
	校舎敷地	10, 310. 15	10, 310. 15					
内訳	運動場敷地	10, 688. 80	10, 688. 80					
	その他の敷地	13, 845. 37	13, 845. 37					
校	舎	建 <u>2,614.56</u> 延 9,992.11	2, 614. 56 9, 992. 11					
体	方 館	建 1,483.46 延 1,494.18	1, 483. 46 1, 494. 18					
7	その他の建物	建 200.51 延 180.24	200. 51 180. 24					
	プール	2個	2 個	_				大25m×8m 4コース 小10m×5m

## 2 配置・規模等

## (1) 校舎等の配置図



## (2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積		
当校	34, 844. 32 m²	9, 992. 11 m²	10, 688. 80 m²		
県平均	18, 814. 78 m²	6, 361. 36 m²	5, 244. 39 m²		

# 在籍生徒調

** F	F /\		小学部			中学部			高领	<del>等</del> 部	
学年	区分	男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
	入学者	8	3	11	17	6	23	27	17	2	19
1	増加								1		1
年	減少										
	現在	8	3	11	17	6	23		18	2	20
	入学者	13	3	16	4	5	9	48	25	12	37
	増加				1		1		1		1
	減少										
2年	2年時当初	13	3	16	5	5	10		26	12	38
	増加	1		1					1		1
	減少										
	現在	14	3	17	5	5	10		27	12	39
	入学者	9	2	11	9	6	15	48	33	10	43
	増加										
	減少								1		1
	2年時当初	9	2	11	9	6	15		32	10	42
3年	増加				1		1		3	2	5
	減少										
	3年時当初	9	2	11	10	6	16		35	12	47
	増加	1		1	1		1				
	減少										
	現在	10	2	12	11	6	17		35	12	47
	入学者	18	2	20							
	増加										
	減少										
	2年時当初	18	2	20							
	増加		1	1							
4 5	減少	1.0									
4年	3年時当初	18	3	21							
	増加	1	1	2							
	減少	1	4	1							
	4年時当初	18	4	22							
	増加	2		2							
	減少	1	4	1							
	現在	19	4	23							

兴大	E /\		小学部			中学部			高等	<b>等部</b>	
学年	区 分	男子	女子	計	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
	入学者										
	増加	14	3	17							
	減少										
	2年時当初	14	3	17							
	増加										
	減少										
	3年時当初	14	3	17							
5年	増加	1	1	2							
9	減少										
	4年時当初	15	4	19							
	増加		2	2							
	減少										
	5年時当初	15	6	21							
	増加										
	減少										
	現在	15	6	21							
	入学者										
	増加										
	減少										
	2年時当初		0	1.0							
	増加	11	2	13							
	減少	1.1	0	1.0							
	3年時当初	11	2	13							
	増加減少	1		1							
6年	4年時当初	10	2	1 12							
0 +	増加	10	4	12							
	減少	1		1							
	5年時当初	11	2	13							
	増加		2	10							
	減少										
	6年時当初	11	2	13							
	増加		1	1							
	減少		_								
	現在	11	3	14							
	計	77	21	98	33	17	50	123	80	26	106

# 入学志願者及び入学者数調

## (高等部)

	区		分	令和3年	度	令和4年	度	令和 5	年度	令和 6	年度	
7	<b>学</b> 和	斗	別	普通科		普通科	普通科		普通科		<b> </b>	
生	徒 定 員 (A) 30		48		48	3	2'	7				
募	集	者	数 (B)	30		48		48	3	2'	7	
			男	22 (0	)	33 (0)	)	26	(0)	17	(0)	
	志願者	数	女	2 (0	)	10 (0	)	12	(0)	2	(0)	
			計 (C)	24 (0	)	43 (0)	)	38	(0)	19	(0)	
			男	22 (0	)	33 (0)	)	26	(0)	17	(0)	
	受検者	数	女	2 (0	)	10 (0)	)	12	(0)	2	(0)	
			計 (D)	24 (0	)	43 (0)	)	38	(0)	19	(0)	
			男	22 (0	)	33 (0)	)	26	(0)	17	(0)	
	合格者	数	女	2 (0	)	10 (0)	)	12	(0)	2	(0)	
			計 (E)	24 (0	)	43 (0)	)	38	(0)	19	(0)	
	志願倍率	(C)	/(B)	0.80		0.90		0. 7	9	0. 7	0	
	受検倍率	(D)	/(B)	0.80		0.90		0. 7	9	0. 7	0	
			男	22		33		25		17		
	入学者数		女	2		10		12		2		
			計 (F)	24		43		37		19		
	充足率(	(F),	/ (A)	0.80		0. 90		0. 7	7	0. 7	0	

# 卒業生の動向調

		中学部	高等	<b>等</b> 部	合計
	△刀	十十四	本科	専攻科	
	全日制				0
高等学校 (本科)	定時制				0
	通信制	1			1
特別支援学校	<b></b>	16			16
その他高等学	<b>兰校等</b>				0
	大学(学部)				0
   大学等	短期大学 (本科)				0
八子守	大学・短大等の信教育学部等				0
	その他大学等				0
特別支援学校	文高等部 専 攻 科				0
専修学校 (専	厚門課程)				0
専修学校(-	- 般課程)・各種学校				0
公共職業能力開発施設等					0
就職			2		2
上記以外 ※		1	28		29
不詳・死亡					0
計	(卒業者総計)	18	30	0	48

## (再掲) 「上記以外 ※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区分	中学部	高等	合計		
区·刀	中十中	本科	専攻科		
児童福祉施設				0	
障害者支援施設	1	26		27	
(うち就労系支援事業利用者)		17		17	
医療機関				0	
計	1	26	0	27	

# 生徒の状況

## 1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

(令和6年10月31日現在) (単位:人)

市町名	浜松市			合計
生徒数	254			254
構成比%	100%			100%

(2) 通学方法

(令和6年10月31日現在) (単位:人)

区分	SB	自家用車	徒歩	自転車	公共交通機関	合計
生徒数	125	74	2	10	43	254
構成比%	49. 3%	29. 1%	0.8%	3.9%	16. 9%	100%

(3) 訪問教育の状況

(令和6年10月31日現在) (単位:人)

	訪問教員等	È	市町		計
小•	教諭		小学部		
中学部	講師		中学部		
高等部	教諭		高等部		
同守印	講師		同守印		
3	計		計		

## 2 部 (クラブ) の加入状況

(中学部)

なし

(高等部)

( 令和6年10月31日 現在) (単位:人)

X	<b>分</b>	運動部	文化部	未加入者	計
部(クラ	ラブ)数	1	1		2
	1年	5	0	13	18
	2年	1	0	26	27
男子	3年	6	7	22	35
	計 (A)	12	7	61	80
	構成比	15.0%	8.8%	76. 2%	100%
	1年	1	0	1	2
	2年	0	1	11	12
女子	3年	2	0	10	12
	計 (A)	3	1	22	26
	構成比	11.5%	3. 9%	84.6%	100%
合計	合計 (A+B)	15	8	83	106
	構成比	14. 2%	7. 5%	78.3%	100%

## 3 障害別児童生徒数

( 令和6年10月31日 現在) (単位:人)

								· · · · · · ·	
	区 分	1年 (2歳)	2年 (3歳)	3年 (4歳)	4年 (5歳)	5年	6年	合計	学級 数
	単一障害							0	
幼稚部	_								
部									
	合計	0	0	0	0			0	0
	単一障害	9	14	8	16	13	11	71	15
小学部	重複障害	2	3	4	7	8	3	27	11
部	肢体重複							0	
	合計	11	17	12	23	21	14	98	26
	単一障害	19	10	8				37	8
中学部	重複障害	4	0	9				13	5
部	肢体重複							0	
	合計	23	10	17				50	13
	単一障害	20	36	44				100	12
高等部	重複障害	0	3	3				6	2
部	肢体重複							0	
	合計	20	39	47				106	14

## 4 起因疾患別児童生徒数

( 令和6年10月31日 現在) (単位:人)

区分						計
幼稚部						0
小学部	9	63	23	1	2	98
中学部	12	32	5	1	0	50
高等部	36	50	19	0	1	106
訪問						0
計	57	145	47	2	3	254

# 特別支援学校における生産物売払調

令和6年度

		主	Eな生産品目							
令和6年	なし									
度	①売払金額	0 円	②令和5年度との差額	△ 273,800円						
	<木 工 班> メモスタンド、レンコンコースター、寄木コースター、ティッシュボックスケース、寄木ペン立て、脱臭剤、デザインコースター、小物入れ、寄っトレー、キーホルダー、モザイクコースター、ペンスタンド									
	スタ グ、 (大	ー (布)、コースタ・ スクエアバッグ (小)	リース(大)、リース(小 ー(紙)、バスボム、マカ )、スクエアバッグ(布付 ー、ガーランド、小物入れ	ブジンラック、かごバッ †き)、スクエアバッグ						
和 5 年		ク、コースター、フ	ートバッグ(中)、トート ァスナーポーチ、ペンケー							
度	<レザー班> ペンケース、コインケース(大)、コインケース(小)、パスケートラップ、ブックバンド、ヘアゴム、十二支マグネット、キーホルマグネット、文庫本カバー、手帳カバー、コースター、コードクリミニポーチ									
		ーゴールド苗、夏野 、トウガラシ	菜セット、サツマイモ、大	、根、切り干し大根、花						
	①売払金額	273,800 円	②令和4年度との差額	145, 200 円						
令	ダー ブッ	、ウッドパズルコー	幾能トレー、着火剤、ウッスター、木製メモスタント マグネット、コースター、	ド、フォトスタンド、						
和 4		シュケース、メモ帳、 バスケット、たて編。	、バスボム、スイッチカバ みのかご、ペン立て	バー、四角かご、小物入						
年度		、ミニトートバッグ、 、ランチョンマット	、箸袋、ファスナーポーチ	-、ペットボトルホル						
		菜セット、マリーゴ クリサンセマム苗、	ールド苗、サツマイモ、切 青菜・切り干し大根	リリ干し大根、乾燥唐辛 						
	①売払金額	128,600 円	②令和3年度との差額	52,700 円						

# 預 金 調

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残 高 円	摘要
浜松磐田 信用金庫 中川支店	無利息型普通預金	2108787	静岡県立浜松みをつくし特別支援学校 資金前渡者 池田 昌史	10,000	給与等・交際 費・所得税等払 出
静岡銀行引佐支店	無利息型普通預金	0295871	(自振口) 静岡県立浜松みをつくし特別支援学校 資金前渡者 池田 昌史	0	公共料金等引落
浜松磐田 信用金庫 中川支店	無利息型普通預金	2108795	静岡県立浜松みをつくし特別支援学校 奨励費 代理受領者 池田 昌史	0	就学奨励費
		Ā	浅高合計	10,000	

## 郵 券 等 受 払 調

(令和6年10月31日現在)

(単位:枚、円)

			4	和	5 年	度					令 和 (	5 年	度			
区分	種類	ŕ	巣 越	į	受 入		払 出	ž	繰 越	į	受 入		払 出	差	引現在高	摘要
		枚数	金額													
	10円券	148	1, 480			30	300	118	1, 180	100	1,000	52	520	166	1,660	
	26円券							0	0	19	1, 596	19	1, 596	0	0	
郵券	84円券	89	7, 476	400	33, 600	270	22, 680	219	18, 396			219	18, 396	0	0	公務連絡
券	100円券	57	5, 700			9	900	48	4, 800	100	10, 000	21	2, 100	127	12, 700	絡用
	110円券							0	0	150	16, 500	107	11, 770	43	4, 730	
	120円券	124	14, 880			34	4, 080	90	10, 800			35	4, 200	55	6, 600	
計			29, 536		33, 600		27, 960		35, 176		29, 096		38, 582		25, 690	

## 材料品受払調

k .															
区分		弇	和	5 年	度					令 和 (	6 年	度			
	Á	繰 越	į	受 入	7	弘 出	Á	嬠 越	į	受 入	4	払 出	差	引現在高	摘要
品名	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	
革			2	71, 840	2	71,840	0	0	1	38, 880	1	38, 880	0	0	
	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	
木材			303	187, 803	303	187, 803	0	0	348	114, 730	348	114, 730	0	0	
,	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	
布			254	99, 309	254	99, 309	0	0	317	30, 619	317	30, 619	0	0	
65 3. 33	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	枚	円	
紙バンド			50	39, 451	50	39, 451	0	0	20	21, 736	20	21, 736	0	0	
3.00	セット	円	セット	円	セット	円	セット	円	セット	円	セット	円	セット	円	
ビーズ			11	14, 715	11	14, 715	0	0			0	0	0	0	
計		0		413, 118		413, 118		0		205, 965		205, 965		0	

## 委託料等歳出予算執行状況節別集計表

						執行済額(円)	
節名	会計	款	項	目	令和4年度	令和5年度	左のうち、令和4年度 からの繰越額分
	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		184, 800	
(12) 委託料	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		53, 776, 410	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費		13, 602, 913	
計					90, 123, 967	67, 564, 123	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		7, 491, 000	
(14) 上尹明只負							
計					1, 540, 000	7, 491, 000	0
(16)							
購入費							
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		796, 400	
(11) 岬吅蚺八頁							
計					1, 528, 175	796, 400	0
(18) 負担金、補助	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		20, 000	
(18) 及び交付金							
計					16, 000	20, 000	0
(21) 補償、補填及 び賠償金							
計					0	0	0

## 

## 委託料等歳出予算執行状況節別集計表

					V 11- 111-	0 +10/101 p 50 E/
節名	会計	款	項	目	執行済額	質(円) 左のうち、令和5年度から の繰越額分
	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	92, 400	
(12) 委託料	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	42, 301, 393	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	6, 578, 198	
計					48, 971, 991	0
(14) 工事請負費						
(11) 工于明只真						
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	590, 370	
(11) 湘四縣八貫						
計					590, 370	0
(18) 負担金、補助 及び交付金	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	23, 000	
計					23, 000	0
(21) 補償、補填及 び賠償金						
計					0	0

## 委託料に関する調

(令和5年度)

里里	委 託	四北土	当初	契	約 金	額	契約	初外世間	支 出	A #5	委託業務	15tz 700
	業務名	受託者	設計金額	当初額	変 更 増減額	計	締結 方法	契約期間	支 出年月日	金額	の内容	摘要
	(事務関係) 機械警備業務	セコム(株)	円 856, 350	円 666, 050	円	円 666, 050	随契	R3. 2. 22		円 (388, 850)	事務室等機械警	随契1号
	DX DX E VIII X 133	(1)	000, 000	000, 000		000, 000	MEX	ζ	R5. 5. 31	15, 400	備(防犯、火災	(少額)
								R6. 9. 30	R5. 6. 30	15, 400	監視)業務	R 2長期
									R5. 7. 31	15, 400		
									R5. 8. 31	15, 400		
									R5. 9. 29	15, 400		
									R5. 10. 31 R5. 11. 30	15, 400 15, 400		
									R5. 11. 30	15, 400		
									R6. 1. 31	15, 400		
									R6. 2. 29	15, 400		
									R6. 3. 29	15, 400		
									R6. 4. 30 小計	15, 400 184, 800		
	給食業務	㈱いづみ食品	31, 607, 840	31, 409, 840		31, 409, 840	一般	R3. 4. 1	7 67	(26, 922, 720)	学校給食調理・	R 3長期
								\ D= = 0.1	R5. 5. 31	1, 121, 780	配膳業務	
								R5. 7. 31	R5. 6. 30	1, 121, 780		
									R5. 7. 31 R5. 8. 31	1, 121, 780 1, 121, 780		
									小計	4, 487, 120		
	通学バス運行	遠州鉄道	205, 451, 400	99, 150, 157	<b>▲</b> 1, 049, 249	98, 100, 908	一般	R3. 4. 1		(65, 575, 476)	通学・校外活動の送流業務	R 3長期
	管理業務	(株)						) DC 0 01	R5. 5. 31	2, 710, 452	の送迎業務	コース変更 に伴う距離
								R6. 3. 31	R5. 6. 30 R5. 7. 31	2, 710, 452 2, 710, 452		制運賃の減
									R5. 7. 31	2, 710, 452		
									R5. 9. 29	2, 710, 452		
									R5. 10. 31	2, 710, 452		
									R5. 11. 30	2, 710, 452		
									R5. 12. 27 R6. 1. 31	2, 710, 452 2, 710, 452		
									R6. 1. 31 R6. 2. 29	2, 710, 452		
									R6. 3. 29	2, 710, 452		
									R6. 4. 30	2,710,460		
_	通学バス運行	遠州鉄道	27, 357, 770	20, 899, 998		20, 899, 998	一般	R4. 4. 1	小計	32, 525, 432 (11, 503, 258)	通学・校外活動	R 4 長期
	管理業務	㈱	41, 001, 110	20, 000, 000		১০, ০০০, ৬৮১	川又	K4. 4. 1	R5. 5. 31	783, 060	の送迎業務	-
								R6. 3. 31	R5. 6. 30	783, 060	(東循環)	
									R5. 7. 31	783, 060		
									R5. 8. 31	783, 060		
									R5. 9. 29 R5. 10. 31	783, 060 783, 060		
									R5. 11. 30	783, 060		
									R5. 12. 27	783, 060		
									R6. 1. 31	783, 060		
									R6. 2. 29	783, 060		
									R6. 3. 29 R6. 4. 30	783, 060 783, 080		
									小計	9, 396, 740		
	通学バス運行	浜松バス㈱	8, 236, 800	8, 078, 400		8, 078, 400	一般	R5. 4. 1	R5. 5. 31	1, 683, 000	通学の迎車業務 (威弥症対策1	
	管理業務							) DE 7 01	R5. 6. 30	2, 244, 000	(感染症対策 1 学期増便)	
								R5. 7. 31	R5. 7. 31 R5. 8. 31	2, 468, 400 1, 683, 000		
									小計	8, 078, 400		<u> </u>
	エレベーター 保守点検業務	株目立ビルシ ステム中郊古	2, 550, 002	2, 323, 200		2, 323, 200	随契	R5. 4. 1	R5. 5. 31	193, 600	遠隔監視及び点 絵調敷修理業務	随契2号
	水寸 供業務	ステム中部支 社						) DC 2 21	R5. 6. 30	193, 600	検調整修理業務	(不適)
								R6. 3. 31	R5. 7. 31 R5. 8. 31	193, 600 193, 600		
									R5. 8. 31 R5. 9. 29	193, 600		
									R5. 10. 31	193, 600		
									R5. 11. 30	193, 600		
									R5. 12. 27	193, 600		
									R6. 1. 31 R6. 2. 29	193, 600 193, 600		
									R6. 2. 29 R6. 3. 29	193, 600		
									R6. 4. 30	193, 600		
	CB A4 her No leb te-	(H) 1, 1, 1, 1					Hyla-lava		小計	2, 323, 200	In the Transaction of	BA-m F
	段差解消機保 守点検業務	(有)イシガミ	836, 000	836, 000		836, 000	随契	R5. 4. 10	R5. 5. 31	66, 000	保守及び建築基 準法第12条点検	随契1号 (少額)
								R6. 3. 29	R5. 6. 30 R5. 7. 31	66, 000 66, 000	業務	1
								NO. 0. 47	R5. 7. 31	66, 000		
									R5. 9. 29	66, 000		
									R5. 10. 31	66, 000		
									R5. 11. 30	66, 000		
									R5. 12. 27	66, 000 66, 000		
		1							R6. 1. 31 R6. 2. 29	66, 000 66, 000		
		'										
									R6. 3. 29	110, 000		

## 委託料に関する調

(令和5年度)

整	er. 27		No. der	契	約 金	額	契約				T. 37 Mk 7h	
理番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金額	当 初 額	変 更 増減額	計	締結方法	契約期間	支 出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
77					2日195115		, v ,		小計	836, 000		
8	可燃物収集運	(有)西遠デト	収集・運搬料	収集・運搬料		収集・運搬料	指名	R5. 4. 10	R5. 5. 31	81, 145	可燃物収集運搬	単価契約
	搬処分業務	リー	4,840/回	4,730/回		4,730/回		5	R5. 6. 30	108, 707	処分業務	
			処分手数料	処分手数料		処分手数料		R6. 3. 29	R5. 7. 31	120, 111		
			12.54/kg	12.54/kg		12.54/kg			R5. 8. 31	103, 087		
									R5. 9. 29	42, 755		
									R5. 10. 31	109, 259		
									R5. 11. 30	116, 810		
									R5. 12. 27	115, 253		
									R6. 1. 31	111, 027		
									R6. 2. 29	91, 520		
									R6. 3. 29	104, 115		
									R6. 4. 30 小計	113, 786 1, 217, 575		
9	グリストラップ清掃	㈱大注サービ	36, 850	36, 850		36, 850	随契	R5. 6. 1	パゴT R5. 7. 19	36, 850	グリストラップ清掃	随契1号
٦	及び産廃収集	ス	50, 650	50, 650		50, 650	たり	κο. υ. 1 (	No. 1. 13	50, 650	及び廃油等収集	(少額)
	運搬処分業務							R5. 8. 31			運搬処分業務	
10	給食業務	㈱いづみ食品	43, 722, 118	37, 382, 400		37, 382, 400	一般	R5. 8. 1		(0)	学校給食調理・	R 5 長期
			, -=, -10	,, .,		,,		5	R5. 9. 29	1, 038, 400	配膳業務	
								R8. 7. 31	R5. 10. 31	1, 038, 400		
									R5. 11. 30	1, 038, 400		
									R5. 12. 27	1, 038, 400		
									R6. 1. 31	1, 038, 400		
									R6. 2. 29	1, 038, 400		
									R6. 3. 29	1, 038, 400		
									R6. 4. 30	1, 038, 400		
	<b>******</b>	(44) 11 11 2 2- 2	05.400	05.100		05.400	tv4-±n	DE 0 0E	小計	8, 307, 200	E-254 (0	
11	産業廃棄物収 集運搬処分業	㈱リサイクル クリーン	97, 106	97, 106		97, 106	随契	R5. 9. 27	R6. 1. 29	97, 106	廃プラ他(8 ㎡)収集運搬処	随契1号 (少額)
	務							R5. 3. 29			分	() 400
12	グリストラップ清掃	㈱太洋サービ	36, 850	36, 850		36, 850	随契	R5. 3. 29	R5. 11. 21	36, 850	グリストラップ清掃	随契1号
12	及び産廃収集	Z	50, 660	30,000		50,000	NUX	(	No. 11. 21	50,000	及び廃油等収集	(少額)
	運搬処分業務							R5. 12. 28			運搬処分業務	
13		㈱太洋サービ	36, 850	36, 850		36, 850	随契	R6. 2. 7	R6. 3. 25	36, 850	グリストラップ清掃	随契1号
	及び産廃収集 運搬処分業務	ス						5			及び廃油等収集	(少額)
								R6. 3. 25			運搬処分業務	
<u> </u>	事務関係計	13 件								67, 564, 123		
-40	合 計	13 件		40.000.6		10.000.000		DE 1 0		67, 564, 123		定 4/ 知 1/ 字
参考	消防用設備等 保守点検業務	静岡県消防設 備保守点検業		19, 030, 000		19, 030, 000		R5. 4. 1			消防用設備等保 守点検業務	浜松湖北高
有	7.1. 7.11.15.25.35	協同組合					/	R6. 3. 31				
参	自家用電気工	遠鉄アシスト		4, 625, 280		4, 625, 280		R5. 4. 1			電気工作物保安	浜松城北工
考	作物保安管理	㈱		4, 020, 200		1,020,200	/	()			管理業務	業高
2	業務						/	R6. 3. 31				
参	建築物環境衛	㈱シービーエ		7, 773, 260		7, 773, 260		R5. 4. 1			建築物環境衛生	浜松西高
考	生管理業務	ム						5			管理業務	
3								R6. 3. 31				
参	プール浄化装	清化工業㈱		998, 800		998, 800		R5. 4. 10				浜松東高
考	置保守点検業 務						/	5			保守点検業務	
4		/ <del>//</del>	<u>/</u> ,				/	R5. 11. 30	<u>/</u> ,	<u>/</u> ,	7-41 Andre -4-40 2001- 2-1 Andre	> 11
参	浜松北地区県 立学校定期点	(有山口 一級建築士事		2, 640, 000		2, 640, 000		R5. 11. 27			建築基準法第12 条点検業務	浜北西高
考 5	位 検業務	務所					/	~ DC 2 2C			小小1火木1カ	
-5	合 計	5 件						R6. 3. 26				
	d it	つ 1十									l	

## 委託料に関する調

(令和6年度) (令和6年10月31日現在)

-101											(令和6年10月	31日現仕)
整理番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金額	当初額	約 <u>金</u> 変 更 増減額	額計	契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
1	(事務関係)機械警備業務	セコム㈱	円 856, 350	円 666, 050	Ħ	円 666, 050	随契	R3. 2. 22 \( \) R6. 9. 30	R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31 小計	(573, 650) 15, 400 15, 400 15, 400 15, 400 15, 400 15, 400 92, 400	事務室等機械警 備(防犯、火災 監視)業務	随契1号 (少額) R2長期
2	給食業務	㈱いづみ食品	43, 722, 118	37, 382, 400	10, 076	37, 392, 476	一般	R5. 8. 1 \$ R8. 7. 31	R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31 小計	(8, 307, 200) 1, 038, 752 1, 038, 752 1, 038, 752 1, 038, 752 1, 038, 752 1, 038, 752 1, 038, 752 6, 232, 512	学校給食調理 配膳業務	R 5 長期 保存食代増 額
3	エレベーター 保守点検業務	㈱目立ビルシ ステム中部支 社	2, 680, 724	2, 362, 800		2, 362, 800	随契	R6. 4. 1 ( R7. 3. 31	R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31 小計	196, 900 196, 900 196, 900 196, 900 196, 900 196, 900 1, 181, 400	遠隔監視及び点検調整修理業務	随契 2 号 (不適)
4	可燃物収集運搬処分業務	(補西遠デトリー	収集・運搬料 5,500/回 処分手数料 12.54/kg	収集・運搬料 5, 280/回 処分手数料 12. 54/kg		収集・運搬料 5,280/回 処分手数料 12.54/kg	指名	R6. 4. 8 \( \) R7. 3. 31	R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31	96, 104 129, 752 120, 572 121, 839 41, 549 120, 057 629, 873	可燃物収集運搬処分業務	単価契約
5	段差解消機保 守点検業務	イシガミ	836, 000	836, 000		836, 000	随契	R6. 4. 8 ( R7. 3. 31	R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31	66, 000 66, 000 66, 000 66, 000 66, 000 66, 000 396, 000	保守及び建築基 準法第12条点検 業務	随契1号 (少額)
6	通学バス運行 管理業務	遠州鉄道 ㈱	244, 695, 528	242, 418, 000		242, 418, 000	一般	R6. 4. 1 ( R9. 3. 31	R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31 小計		通学・校外活動 の送迎業務	R 6長期
7	グリストラップ清掃 及び産廃収集 運搬処分業務	㈱太洋サービ ス	36, 850	36, 850		36, 850		R6. 6. 19 ( R6. 8. 30	R6. 7. 12	36, 850	グリストラップ 清掃 及び廃油等収集 運搬処分業務	随契1号 (少額)
8	グリストラップ清掃 及び産廃収集 運搬処分業務	㈱太洋サービ ス	36, 850	36, 850		36, 850	随契	R6. 10. 2 \( \) R6. 12. 27			グリストラップ 清掃 及び廃油等収集 運搬処分業務	随契1号 (少額)
9	産業廃棄物収 集運搬処分業 務	㈱リサイクル クリーン	52, 006	52, 006		52, 006	随契	R6. 11. 18			廃プラ他(3.5 ㎡)収集運搬処分	随契1号 (少額)
<u></u>	事務関係計	9 件								48, 971, 991		
,.	合 計	9件		10.010.11		10 800	<u> </u>	DC 1		48, 971, 991		NC 40 MATH
参 考 1	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設 備保守点検業 協同組合		18, 810, 000	<b>▲</b> 16, 500	18, 793, 500		R6. 4. 1 ( R7. 3. 31			消防用設備等保 守点検業務	浜松湖北高
参 考 2	自家用電気工 作物保安管理 業務	遠鉄アシスト㈱		4, 755, 960	356, 741	5, 112, 701		R6. 4. 1 ( R7. 3. 31			電気工作物保安管理業務	浜松城北工 業高
参考3	建築物環境衛生管理業務	㈱シービーエム		7, 773, 260		7, 773, 260		R6. 4. 1 ( R7. 3. 31			建築物環境衛生管理業務	浜松西高
参考 4	プール浄化装置保守点検業務	清化工業㈱		998, 800	<b>▲</b> 17, 050	981, 750		R6. 4. 8 R6. 12. 27			プール浄化装置保守点検業務	浜松東高
参 考 5	機械警備業務	セコム㈱		14, 256, 000		14, 256, 000		R6. 10. 1 ( R11. 9. 30			事務室等機械警備(防犯、火災 監視)業務	浜松工業高
	合 計	5 件										

# 負担金支出調

(令和5年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担 根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国特別支援学校 知的障害教育校長 会会費	全国特別支援学校知 的障害教育校校長会 長	会則	学校の管理運営に 関する調査研究	円 15, 000	R5. 7. 20
2	東海地区特別支援 学校知的障害教育 校長会会費	東海地区特別支援学 校知的障害教育校長 会長	規則	教育の充実・改善 の推進及び教育上 の調査研究	5, 000	R5. 7. 28
	計	2 件			20, 000	

# 負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担 根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国特別支援学校 知的障害教育校長 会会費	全国特別支援学校知 的障害教育校校長会 長	会則	学校の管理運営に 関する調査研究	15,000	R6. 7. 17
2	東海地区特別支援 学校知的障害教育 校長会会費	東海地区特別支援学 校知的障害教育校長 会長	規則	教育の充実・改善 の推進及び教育上 の調査研究	5, 000	R6. 7. 26
3	全国特別支援学校 知的障害教育校長 研究大会四国大会 参加費	全国特別支援学校知 的障害教育校長研究 大会四国大会実行委 員長	開催要項	学校経営等に関す る情報共有及び特 別支援教育の充実	3, 000	R6. 7. 30
	計	3 件			23, 000	

建 築 工 調

(令和5年度)

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	当 初 額	約 金 変 更 増 減 額	額計	契約 おおき		着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
1	教育管理費	令和5年度静岡県 立浜松みをつくし 特別支援学校北 棟・南棟防火扉修 繕工事	浜松市北区 細江町広岡地内	Н 4, 851, 000	4, 763, 000	<b>П</b>	4, 763, 000	指名		R5. 12. 26 R6. 3. 22	4, 763, 000	北棟2階、南棟2、 3階防火扉フロアヒ ンジ5台	_	令達 R5.12.1 支払 R6.4.19
2	教育管理費	令和5年度静岡県 立浜松みをつくし 特別支援学校会議 室可動間仕切り更 新工事		2, 739, 000	2, 728, 000	0	2, 728, 000	指名	北栄建設㈱	R6. 1. 17 R6. 3. 28	2, 728, 000	可動間仕切り梁12 ㎡、可動間仕切り W6500*H2600	_	令達 R5. 12. 18 支払 R6. 4. 30
		合 計	2 件	7, 590, 000	7, 491, 000	0	7, 491, 000				7, 491, 000			

令和6年度 該当なし

## 公 有 財 産 調

(令和5年度)

	令和5年3	月31日現在	Ħ	曽	Ð	載	令和6年3	月31日現在	
区分	数量又は 面積	台帳価格	数量又は 面積	台帳価格	数量又は 面積	台帳価格	数量又は 面積	台帳価格	摘要
行政財産		千円 1,462,216		千円 0		千円 54, 964		千円 1,407,252	
土 地	m² 34, 844. 32	664, 957					m² 34, 844. 32	664, 957	
建物	m <sup>2</sup> 4, 298. 53 11, 666. 53	472, 011				37, 281	m <sup>d</sup> 4, 298. 53 11, 666. 53	434, 730	
工作物	個 100	325, 248				17, 683	個 100	307, 565	
公有財産に 準ずるもの		154		0		0		154	
電話加入権	件 8	154					件 8	154	

令和6年度中 増減なし

## 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和6年度) (令和6年10月31日現在)

区	事業名又	内容	契約額			(契約	約額の年度別内	]訳)		
分	は契約名	Y J 合	天和100	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
長	機械警備 業務	機械警備業務 (契約日) 令和3年2月8日	666, 050	円 (浜北特支執行) 19,250	円 184, 800	円 184, 800	円 184, 800	円 92, 400	円	円
期継続契	給食業務	給食業務 (契約日) 令和5年7月19日	37, 392, 476				8, 307, 200	12, 465, 024	12, 465, 024	4, 155, 228
約	通学バス 輸送業務	通学バス輸送 5台 (契約日) 令和6年4月1日	242, 418, 000					80, 805, 912	80, 805, 912	80, 806, 176

## 行政財産貸付・使用許可願

整理	区分	種別	所在地	地	目	数 量	貸付料又	【は使用料	貸付又は使	貸付又は使用 許可を受けた	貸付・使用
番号	四刀	1至7/1	17111146	台帳	現況	又は面積	単価	年額	用許可期間	者の氏名	許可目的
1	土地	学校 敷地	浜松市浜名 区細江町広 岡 1	学校敷地	学校敷地	6本	1,500	9,000	R3. 4. 1 ( R8. 3. 31	中部電力パワーグ リット㈱浜北営業 所配電建設グルー プ長	電柱4本支線2本
2	土地	車/√+/// <b>■</b>	浜松市浜名 区細江町広 岡 1	学校敷地	学校 敷地	1.0 m²	I	免除	R3. 4. 1	浜松市長	道路照明灯 敷地
3	土地	車/√+/// <b>■</b>	浜松市浜名 区細江町広 岡 1	学校敷地	学校 敷地	213. 20 m²	I	免除	R3. 4. 1 ( R8. 3. 31	浜松市長	水路敷地
4	土地	車/√+/// <b>■</b>	浜松市浜名 区細江町広 岡 1	学校敷地	学校敷地	52. 59 ㎡	1	免除	R3. 4. 1 ( R8. 3. 31	浜松市長	道路敷地
合	計							9,000			

# 主 要 備 品 調

由ケーロ	-	<i>i</i> /\				10月31日現在)
整理番号	大・中	<u>分</u> 小	品名 • 規格	利 用 状 況	購入年月	購入金額 (円)
1	1-13	その他の厨房器具	真空冷却機 三浦工業 CMJ-20QE	給食実施日(年間194 日)調理用	R3.3	3, 168, 330
2	2-1	パーソナルコン ピュータ(一式)	ノートパソコン・サーバ―他 富士通 LIFEBOOK A5510/E	月1日(年間10日) 生活単元学習等	R 3.3	2, 535, 940
3	1-13	その他の厨房器具	コンビオーブン アイホー ACO-102ES	給食実施日(年間194 日)調理用	R3.3	1, 985, 467
4	1-13	その他の厨房器具	ラックコンヘ、ヤタイプ。自動食器洗浄機 日本洗浄機 SDR310GSH	給食実施日(年間194 日)調理用	R3.3	1, 967, 933
5	10-7	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハ C5	学期3日(年間10 日)式典、行事用	H21. 3	1, 587, 547
6	1-13	その他の厨房器具	電気式食器消毒保管機 アイホー EW-2004N特	給食実施日(年間194 日)調理用	R3.3	1, 479, 192
7	1-13	その他の厨房器具	ステンレス製回転釜 桐山工業 KIFSD2X-30	給食実施日(年間194 日)調理用	R 3.3	1, 384, 526
8	1-13	その他の厨房器具	ステンレス製回転釜 桐山工業 KIFSD2X-30	給食実施日(年間194 日)調理用	R3.3	1, 384, 526
9	1-13	その他の厨房器具	電気式食器消毒保管機 アイホー EW-1504N特	給食実施日(年間194 日)調理用	R3.3	1, 104, 686
10	1-13	その他の厨房器具	3 槽シンク アイホー S3-207BDB	給食実施日(年間194 日)調理用	R3.3	816, 310
11	1-13	冷蔵(凍)庫	パススルー冷蔵庫 ホシザキ電機 HR-120CA-ML-4G4G	毎日(年間365日) 食材等保管用	R3.3	805, 640
12	1-13	その他の厨房器具	下処理用3槽シンク アイホー S3-187BDVB	給食実施日(年間194 日)調理用	R3.3	788, 436
13	1-13	その他の厨房器具	ガス式立体炊飯器 アイホー RMG-154R	給食実施日(年間194 日)調理用	R 3. 3	728, 970
14	1-13	その他の厨房器具	ガス式立体炊飯器 アイホー RMG-154R	給食実施日(年間194 日)調理用	R 3. 3	728, 970
15	1-4	移動書庫	63型クランク オカムラ	毎日(年間365日) 書類保管用	R3.3	712, 800
16	1-13	その他の厨房器具	器具消毒保管機 アイホー EWK-1004N特	給食実施日(年間194 日)調理用	R 3. 3	706, 321
17	1-13	その他の厨房器具	器具消毒保管機 アイホー EMK-1004N	給食実施日(年間194 日)調理用	R 3. 3	612, 568
18	1-13	その他の厨房器具	包丁・まな板消毒保管機 アイホー ES-254N特	給食実施日(年間194 日)調理用	R 3. 3	553, 322
19	7-1	除草用機器	草刈機乗用 やまびこ RM831/B	年4回(年間12日) グラウンド除草用	R 4.1	543, 840
20	1-7	製本機	丁合機 デュプロ DFC-100NⅡ	週1日(年間40日) 授業、会議資料用	R3.3	495, 000

## 職員調

(令和5年9月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤続年数	摘 要
1	校長	池田 昌史	総括		□年 □月	
2	副校長	荒木 敬一郎	総括		□年 □月	
3	教頭	池上 元子	総括		□年 □月	
4	事務長	袴田 早苗	事務総括		□年 □月	
5	教諭	堀野 真吾	高等部		□年 □月	
6	教諭	久野 香織	中学部		□年 □月	
7	教諭	鈴木 康予	高等部		□年 □月	
8	教諭	土屋 彰子	小学部		□年 □月	
9	教諭	寺田 結佳	高等部		□年 □月	
10	教諭	中安 克英	高等部		□年 □月	
11	教諭	鈴木 満彦	中学部		□年 □月	
12	教諭	山田 浩	中学部		□年 □月	
13	教諭	泉澤 俊恵	小学部		□年 □月	
14	教諭	藤田 京子	小学部		□年 □月	
15	教諭	竹内 啓司	中学部		□年 □月	
16	教諭	髙木 龍治	高等部		□年 □月	
17	教諭	宮本 晴子	小学部		□年 □月	
18	教諭	榊原 あゆみ	中学部		□年 □月	
19	教諭	柿澤 あかね	小学部		□年 □月	
20	教諭	伊藤 昌明	小学部		□年 □月	
21	教諭	山田 けい子	小学部		□年 □月	
22	教諭	村田 典加	中学部		□年 □月	
23	教諭	山本 真理子	小学部		□年 □月	
24	教諭	西尾 洋子	小学部		□年 □月	
25	教諭	山本 敏士	小学部		□年 □月	
26	教諭	齋 藤 香	中学部		□年 □月	
27	教諭	楠 真知子	小学部		□年 □月	
28	教諭	中嶋 祥子	中学部		□年 □月	
29	教諭	深川 彰久	高等部		□年 □月	
30	教諭	窪前 和孝	高等部		□年 □月	
31	教諭	福田 賢太	中学部		□年 □月	
32	教諭	松本 靖正	高等部		□年 □月	
33	教諭	大石 恵子	小学部		□年 □月	
34	教諭	中川 千絵子	高等部		□年 □月	
35	教諭	田中 祥惠	高等部		□年 □月	
36	教諭	髙橋 史江	高等部		□年 □月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤続年数	摘要
37	教諭	大場 裕史	高等部		□年 □月	
38	教諭	中村 剛	高等部		□年 □月	
39	教諭	宮本 仁美	小学部		□年 □月	
40	教諭	田中 絢子	高等部		□年 □月	
41	教諭	髙橋 僚兵	小学部		□年 □月	
42	教諭	鶴 見 唯	高等部		□年 □月	
43	教諭	加藤 公彦	小学部		□年 □月	
44	教諭	近藤 直人	高等部		□年 □月	
45	教諭	北野谷 冬馬	高等部		□年 □月	
46	教諭	松本 絵梨佳	小学部		□年 □月	
47	教諭	山本 絢香	小学部		□年 □月	
48	教諭	早川 桂	中学部		□年 □月	
49	教諭	西村 謙一	高等部		□年 □月	
50	教諭	東 静香	高等部		□年 □月	
51	教諭	中川 友実	高等部		□年 □月	
52	教諭	太田 紗弥佳	中学部		□年 □月	
53	教諭	名波 未来	中学部		□年 □月	
54	教諭	山下 勇人	小学部		□年 □月	
55	教諭	秋野 かざみ	中学部		□年 □月	
56	教諭	前田 綾音	小学部		□年 □月	
57	教諭	飯塚 友菜	小学部		□年 □月	
58	教諭	藤谷 里香	高等部		□年 □月	
59	教諭	栗田 麻実	高等部		□年 □月	
60	教諭	石田 絵理	小学部		□年 □月	
61	教諭	吉田 紫歩	高等部		□年 □月	
62	教諭	朝倉 千景	小学部		□年 □月	
63	教諭	髙橋 ちひろ	中学部		□年 □月	
64	教諭	河合 瑞貴	高等部		□年 □月	
65	教諭	中村廉	中学部		□年 □月	
66	教諭	望月 信吾	小学部		□年 □月	
67	教諭	鈴木 千華	高等部		□年 □月	
68	教諭	松澤賢	高等部		□年 □月	
69	教諭	松居 愛奈	中学部		□年 □月	
70	教諭	齋藤 令名	中学部		□年 □月	
71	教諭	二俣 皓亮	小学部		□年 □月	
72	教諭	玉村 羽純	小学部		□年 □月	
73	教諭	髙塚 友美	高等部		□年 □月	
74	教諭	髙林 郁夫	中学部		□年 □月	
75	教諭	上 田 翼	小学部		□年 □月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤続年数	摘  要
76	教諭	伊藤 隆太	高等部		□年 □月	
77	教諭	河嶋 佑衣	小学部		□年 □月	
78	教諭	栗原 由佳	中学部		□年 □月	
79	教諭	白井 雄大	高等部		□年 □月	
80	教諭	吉田 亜優	中学部		□年 □月	
81	教諭	宮 下 董	小学部		□年 □月	
82	教諭	中村 美希	小学部		□年 □月	
83	教諭	吉山 優芽菜	小学部		□年 □月	
84	教諭	鈴木 梨那	小学部		□年 □月	
85	教諭	守田 亮介	高等部		□年 □月	
86	教諭	小椋 拓実	中学部		□年 □月	
87	教諭	青木 正美	小学部		□年 □月	
88	教諭	小林 英里香	小学部		□年 □月	
89	教諭	竹原 遼加	小学部		□年 □月	
90	教諭	松本 祐輔	高等部		□年 □月	
91	教諭	太田 知秀	高等部		□年 □月	
92	教諭	三谷 涼華	高等部		□年 □月	
93	教諭	市原 摩弥	小学部		□年 □月	
94	教諭	杉﨑 真帆	高等部		□年 □月	
95	教諭	相羽 翔太	小学部		□年 □月	
96	教諭	菅 実紀	小学部		□年 □月	
97	教諭	朝田優花	小学部		□年 □月	
98	教諭	鈴木 沙祐実	小学部		□年 □月	
99	養護教諭	砂川 蘭人	養護		□年 □月	
100	養護教諭	齋藤 未結	養護		□年 □月	
101	栄養教諭	菅沼 純子	給 食		□年 □月	
102	主査	本間 ひとみ	管 財		□年 □月	
103	主査	増田 広人	庶 務		□年 □月	
104	主任	金子 友二	会 計		□年 □月	
平均年数				2年 5月		

# 職員調

臨時·非常勤職員

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤続年数	摘  要
1	教諭 (任)	青木 典子	小学部		□年 □月	
2	教諭 (任)	松本 諭始	高等部		□年 □月	
3	教諭 (任)	良知 なつ美	高等部		□年 □月	
4	教諭 (臨)	川合 真由子	小学部		□年 □月	
5	教諭 (臨)	溝江 亜希	小学部		□年 □月	
6	教諭 (臨)	本多 拓也	中学部		□年 □月	
7	教諭 (臨)	澤田 成美	中学部		□年 □月	
8	教諭 (臨)	柄澤 利恵	小学部		□年 □月	
9	教諭 (臨)	野澤 徹哉	中学部		□年 □月	
10	教諭 (臨)	髙木 新太	中学部		□年 □月	
11	教諭 (臨)	木津谷 百恵	中学部		□年 □月	
12	教諭 (臨)	新田 真一郎	高等部		□年 □月	
13	教諭 (臨)	佐藤 直哉	小学部		□年 □月	
14	教諭 (臨)	倉田 朋歌	小学部		□年 □月	
15	教諭 (臨)	曽根 克仁	中学部		□年 □月	
16	医療的ケア看護職員	山﨑 里依子	看 護		□年 □月	
17	医療的ケア看護職員	吉國 香苗	看 護		□年 □月	
18	非常勤講師	林 利幸	小学部		□年 □月	
19	非常勤講師	野田 奈津代	社会人活用		□年 □月	
20	非常勤講師	原田 悦子	社会人活用		□年 □月	
21	実習支援指導員	政本 清美	実習支援		□年 □月	
22	非常勤嘱託員	小林 八重子	実習支援		□年 □月	
23	非常勤嘱託員	丸井 菜央	実習支援		□年 □月	
24	非常勤嘱託員	増井 文音	事務補助		□年 □月	
26	非常勤労務職員	長谷 元博	用務		□年 □月	
27	非常勤労務職員	栗田 一一	用務		□年 □月	
28	非常勤労務職員	岩﨑 和久	バス介助		□年 □月	
29	非常勤労務職員	山下 すゞ奈	バス介助		□年 □月	
30	非常勤労務職員	藤田 千鳥	バス介助		□年 □月	
31	非常勤労務職員	赤谷 栄子	バス介助		□年 □月	
32	非常勤労務職員	齊藤 浩子	バス介助		□年 □月	
33	非常勤労務職員	本 田 進	バス介助		□年 □月	
34	学校医	山田 克己	内科		□年 □月	
35	学校医	西村 香澄	眼科		□年 □月	
36	学校医	今井 篤志	耳鼻科		□年 □月	
37	学校医	牛田 健二郎	歯科		□年 □月	
38	学校医	太田 千惠	歯科		□年 □月	
39	学校薬剤師	牧田 道明	薬剤師		□年 □月	
40	健康管理医	名倉 康雄	産業医		□年 □月	

# 職員の年齢調

年 齢	人 員	摘  要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	20 人	
30歳以上40歳未満	35 人	
40歳以上50歳未満	22 人	
50歳以上56歳未満	12 人	
56歳以上61歳未満	14 人	
61歳以上	1人	
計	104 人	平均年齢 40.8歳

# 健 康 管 理

## 1 令和5年度受診状況

区分	内 容			
受診状況	受診者数   99 人     職員数   99 人			
受 診 率	100 %			
県平均受診率	100 %			

(1) 未受診の理由

## 2 令和6年度在籍者の健康管理区分結果

	健康管理区分	人数	(1) 管理区分A~C 2該当者 に対する措置状況	
A	  休養のため必要な期間、勤務を休_ 	止させる。	0 人	
В1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方	要 治 療	0 人	
В2	への出張をさける。また、必要に 応じ勤務場所、勤務内容の変更を 行う。	要経過観察	0 人	
С1	勤務をほぼ正常に行ってよいが症 状によっては、時間外、休日、宿 日直勤務及び長期又は遠方への出	要治療	0 人	
C2	日直勤務及い長期又は退力への出 張等勤務に制限を加える必要がある。	要経過観察	0 人	(2) 未区分の理由
D1		要治療	15 (15) 人	- ア 0000 0人
D2	平常の勤務で良い。	要経過観察	12 (12) 人	7 0000 0人
D3		医療不要	70 (70) 人	- ウ ロロロロ ロ 人
	区分者計	97 (97) 人	工 0000 0人	
	未区分者数	7 (7) 人		
	合 計		104 (104) 人	